

特集

人権を考える

Part 2

今年度はこんな人権教育に取り組みました

長門市では、「長門市人権教育推進委員会」を中心として、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向け、地域に密着したきめ細かい人権教育・人権啓発活動を推進しています。

今年度は、重点指導課題として「子どもの問題」を取り上げ、3回のセミナーとフェスティバルを開催いたしました。

第1回長門市人権教育セミナー

■とき 7月8日(日)

■ところ ラポールゆや

■参加者 約150人

昨年度も講演いただいた岡山学芸館高等学校参与の森美智子先生を講師としてお招きし、『共に育ちたい』〜今、家庭に必要なものは〜という演題でお話をいただきました。

近年、少子化の進行、家族形態の変化、共働き家庭の増加などにより、子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化してきている現状をふまえ、岡山学



芸館高等学校での生徒との交流の様子や、「岡山いのちの電話」相談員としての体験談など、熱のこもった関西弁でお話いただき、親子の関係、家族の大切さを改めて考えさせられる貴重な時間になりました。



▲森美智子先生による講演

《参加者の感想》

▼忙しい、忙しいと逃げていた自分を反省しました。子どもの目を見て、子どものために、しっかりと自分の思いを伝え、認めてあげようと思えます。笑顔のあいさつ、今日からできることを確実にやってみようと思えます。

▼親としてまだまだ未熟な自分を思い知りました。日常の中で、できることがたくさんあることに気づけてよかったです。

▼時間が長いと思っていたのですが、話が面白くてあつという間に終了時間となりました。実話をもとにした話でしたので、とても参考になりました。

第2回長門市人権教育セミナー

■とき 8月30日(木)

■ところ 三隅公民館

■参加者 26人

子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件をとおして、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えました。また、今一度「いのち」について自分の問題として考えていただく機会として、人によって生かされ、つながって行く「いのち」を中心に描いたビデオ「チーム・パン」を視聴した後、小グループに分かれてエコマップを作成するとともに意見交換を行いました。



▲参加者は真剣に意見交換を行った

従来の話し手と聞き手の関係で学ぶ研修会ではなく、参加者がお互いに意見を出し合い、相互に作用しあう中で人権にかかわる課題について学び取っていくこととする、主体的な学習が展開されました。

《参加者の感想》

▼日頃ニュースや新聞で目にするDVなどの事件、自分からすると同じ親として信じられず、ニュースを聞きながら心と体の痛みに耐えている子ども達のことを考え涙が出ます。でも、日常に戻るとすぐに遠いよそのことになってしまいます。こういう



人権イメージキャラクター
人KENあひちゃん

人権イメージ
キャラクター
「KEN」君



機会に、多くの人とたくさん意見交換ができてよかったですと思います。

▼子どもを持つ親として切なくなる場面も多々ありました。見て見ぬフリをするのは簡単なのですが、少しでも困っている人の力になれる様、心がけたいと思いました。

▼人権教育の第一歩は、「人を大切にできる人間」を育てる家族のあり方からだと思いました。虐待の連鎖というテーマでしたが、逆に愛情も連鎖する・・・まずは我が子との向かい合い方を見つめなおしてみようと思いました。

長門市人権フェスティバル

- とき 11月3日(土)
 - ところ ルネッサながと 劇場
 - 参加者 約800人
- 山口人権啓発活動地域ネットワーク



▲アリーナでは大運動会が開催



▲藤田滉大さん（日置中学校）の作文披露

協議会から、「人権の花」運動協力校へ感謝状の贈呈と、萩人権擁護委員協議会から全国中学生人権作文コンテスト萩地区大会入賞者へ表彰状の授与が行われ、入賞者を代表して長門市立日置中学校の藤田滉大さんが、「人とのふれあい〜いじめ〜」の作文披露を行いました。

講演会では、テレビ番組「行列のできる法律相談所」でおなじみの住田裕子弁護士をお招きし、『大切に慈しんで「ひとつの命」〜児童虐待の事件から子どもの人権を考える〜』と題してご講演いただきました。

《参加者の感想》

▼住田先生のはつらつとした元気な話し声が印象に残りました。弁護士の視点からはつきりしたメッセージ、思いがしじみと伝わってきました。

▼住田弁護士のお話にとっても引きつけられました。私も子どもたちにとつ

て信頼できる大人でありたいと、改めて思いました。そして、共感性のもてる人に育てていきたいと思えました。

▼子どもに愛情を持つて接することができなければ、すべて虐待であるということ、自分自身の愛情の足りなさを改めて感じました。努力して自分の愛情を育てていきたいと思いました。

▼もうすぐ、大学の面接があるのですが、とても参考になりました。将来は、住田さんと同じような仕事がしたいです。

▼日常生活で、仕事、家事、子育ての忙しさに追われて、子どもに大切な事を教えてあげられているかな？と考えることができました。子どもは恥ずかしがりやで挨拶がなかなか出来ません。協調性のある、人の痛みが感じられる子どもに育つよう心がけていきたいと思えます。

第3回長門市人権教育セミナー

日置地区あたたかいふるさとづくり
研修大会

- とき 12月2日(日)
 - ところ 日置農村環境改善センター
 - 参加者 約130人
- オープニングでの日置女声合唱団「白い風車」の皆さんによる合唱を聞いた後、長門市青少年育成市民会議日置支

部から「フォトコンテスト」入賞者5人へ表彰状の授与が行われました。

引き続き、日置地区小・中学校・高等学校の児童・生徒による意見発表が行われました。

講演会では、西佐波保育園の渡辺二美子園長に「子どもの心の中は見えますか？」〜親の心子知らず 子の心親知らず〜と題してご講演いただきました。

保育園長としての長年の経験をもとに、子どもの動作の裏づけとなる心の中を分析され、親として、大人として、どう子どもに関わったらよいかを具体的にお話していただきました。

《参加者の感想》

▼子育てについてユーモアを交えながら話され、心に響くものがありました。心を大切にしていきたいと思えます。

▼ふるさとを思う子どもたちの意見を聞き、頼もしく感じました。楽しい雰囲気の中で講演を聞くことができました。

▼講演は、子育て中でない人や男性でも、「すべての子どもたちを育てる」という点で、大変参考になりました。

来年度も、今年度に引き続き「子どもの問題」に関する人権教育に取り組んでいく予定としております。ご意見、ご要望がございましたら、生涯学習スポーツ振興課231-1259までお願いします。